

# 校内研だより



令和4年8月25日(木)  
研究推進部  
No.14

## 1 8月19日(金) 都小社研夏季研究会を終えて

<午前>



まずは、会場校校長の挨拶からスタート。8月19日(金)という日程にもかかわらず、たくさんの方々に参加していただけたことは、とても良かったです。

前半は、都小社研の研究と本校の取組の概要説明でした。都小社研の研究については、もう少し分かりやすく、本校の取組については、もう少し具体的にできるといいかなと思いました。限られた時間で、分かりやすく具体的に説明できるように、今後も修正を続けていきます。たくさんのご意見をありがとうございました！

午前中は、それぞれの部会での実践検討でした。他校からの参加者があった学年部会は、うまくコミュニケーションを取っていただき、ありがとうございました。終わった後に、たくさんの方が「良い時間でした。」と言っていました。この雰囲気は本校のウリの一つです。実践を詰める段階は大変ですが、引き続きお願いします。



<午後>



午後は、それぞれの部会での検討の共有でした。ただ聞くだけではなく、対話を重ねながらできたことは大きな成果です。少し長い時間になってしまいましたが、講師の先生の価値付けや、ジャムボードへの打ち込みもありがとうございました。近々、整理しましょう。

○講師の石橋昌雄先生から  
☆参加者が求める授業を！  
☆生活科と社会科の関連を大切に！  
☆しっかり深めること！



○講師の櫻井眞治先生から  
☆子供と教師が追究したい問いを明らかに！  
☆「つなぐ」段階に子供の思いが伴っているように！  
☆本時に「研究のテーマがあらわれる場面」を！



※たくさん価値付けていただきました。永山先生が、ジャムボードに見やすくまとめてくれました！

<校内の担当より>

1年：「自分でできるよ」(永山)

自分や家族の生活を見つめなおすことから、家族にとどまらず、「自分との関わりがある人、エリア(学校・地域)」について親しみをもてることを目指そうとまとまりました。児童の気付きを深めたり、意欲を高めたりできるよう、発問、話し合いの方法、活動の工夫をしていきたいです。

2年：「もっとなかよしまちたんけん」(崎浜)

まちの中の「もの」への気付きから、「人」への気付きへと高めていくための、教師の問いかけの内容や、まちの中で生活している「人」との関わりが、まちへの愛着につながっていくということをご指導いただきました。最終的に、「いいまちだな。」と思えるような授業を考えていきたいです。

3年：「農家ではたらく人々の仕事」「小金井市の様子のうつりかわり」(荒井)

「うつりかわり」単元について、まず、「開かずの踏切」の教材化について、「市民の願い」とつながられないかという考えなどが出ました。また、「つなぐ」段階では、未来志向をもたせたいと考えました。そのために、地域への「愛着」がもてるような授業にしていきたいです。

4年：「届けよう命の水～玉川兄弟と玉川上水の開発～(郷土の発展につくした川崎平右衛門)」(松本)

玉川上水の学習に、川崎平右衛門の教材をどのように活用していくのか話し合いました。新田開発を調べる段階、つなぐ段階に取り入れる案が出ました。子供にとって、違和感なく川崎平右衛門を学習すること、また、地域への愛着、未来志向を目指した学習にすることが必要だと考えました。

5年：「自動車をつくる工業」(鈴木)

実践のウリとなる「ウーブンシティ」の教材化について話し合いました。日本の工業の未来を考える教材にするためにも、「人」に着目した単元構成にしていこうと考えました。また、自動車の未来、日本の工業の未来を考える中で、well-beingについても意見が交わされる授業にしていきたいです。

6年：「国民の願いを実現する政治」「長く続いた戦争と人々の暮らし」(笠原)

戦争単元について主に話をしました。それぞれの先生の実践や考え方を話し合いました。ロシア、ウクライナ問題を入れることで、自分事として考えられそうでしたが、時事問題の扱い方については、慎重にしていけないといけないと思いました。子供が真剣に考えられる問いを考えていきたいです。

梅の実：「小金井まち名人になろう」(志村)

本時について、具体的な留意点をご指導いただきました。地図作りにおいては、児童の空間的距離、時間的距離、心理的距離を把握すること、児童から問いを引き出すよう、まずは教師が模範となり練習を重ねること、常に単元のゴールに振り返ること、ICTの活用、等のご指導をいただきました。

☆校長先生から☆

夏季休業日の一日ですが、多くの先生方に参加をしていただき、他校から参加された先生方とも和やかに話し合いながら、前向きに研究に取り組みされたことに、心から感謝と敬意を表します。会の最後にも述べましたが、本校の先生方の一生懸命さと前向きな姿を、他校の先生方にも見て、知っていただけたことを大変嬉しく思っています。この日が、東京大会に向けた本格的なスタートであり、これからも引き続き、皆さんで力を合わせて、本校としての主体的な学びの授業をつくり上げていきましょう。



☆おかげさまで緩やかにスタートを切ることができました。特に、午後の共有の場面でクロームブックを持ってパッと動いて、それぞれがファシリテートしてくださっていた姿が最高でした。教科の大会なので、もちろん授業は大事になりますが、その背景にあるものをまずは大切にしていければと思います。他の会場校の声も聞こえてきていますが、本校がダントツで和やかでした。他校から来た方々も、本校のチームワークや雰囲気の良いさにびっくりしていました。今後も、どうぞよろしくお祈りします。



## 2 すきかつ「夏休み終わっちゃうね!の会」について

☆夏休み終わっちゃうね!の会

日 時：8月29日(月) 10:30~12:15

場 所：5年1組

持ち物：クロームブック、夏休み中に読んだ本や研修の資料など

内 容：①夏休みこんな学びをしたよ

②8月19日(金)の付箋の整理と今後の見通し

③校内研事前検討(2年生)

## 3 その他

☆振り返りについて学年で話してみてください。

☆ペーパーレス活動にご協力をお願いします。

☆9月13日(火) 校内研究会⑤(研究授業③2年生) *研究だより⑭*

☆ 28日(水) 校内研指導案検討(5年生) *研究だより⑮*

☆10月21日(金) 校内研究会⑥(研究授業④5年生) *研究だより⑯*